

2014年5月8日

印刷業界のデジタル化を加速する 「Versant™ 2100 Press」 新発売

プロ市場向け機能を厳選し、コンパクトなボディに搭載
デジタル画像処理技術を刷新し、さらなる高画質を実現

富士フィルムグループの富士ゼロックス株式会社（本社:東京都港区、社長:山本 忠人）は、エントリープロダクションカラー市場向け新商品「Versant™ 2100 Press（バーサント 2100 プレス）」を日本およびアジア・パシフィック地域で、7月1日より順次発売します。

印刷市場では、一人ひとりの嗜好を反映したパーソナル印刷の需要の高まりや、多様なニーズに合わせた少部数印刷によりデジタル化が進行しています。デジタル化により印刷物は単なる紙媒体から、お客様にアプローチするメディアミックスの1つとして、マーケティングの可能性を広げています。

当社では 2009 年にプロダクションカラープリンティングのハイエンドプロ市場向け「Color 1000 Press」を投入し、印刷業界のデジタル化を推進してまいりました。この流れを加速すべく、今回スタンダードモデルとしてフルカラー毎分 100 ページの生産性を備えた「Versant™ 2100 Press」を投入し、ラインアップをさらに強化します。

本商品は、プロ市場向けの機能を厳選し、コンパクトなボディ^{注1}に凝縮して搭載。また、デジタル画像処理技術を刷新し、さらなる高画質を実現したコストパフォーマンスに優れた商品です。

上位機種^{注2}のベルトロール定着器を小型化しつつ、十分な加熱ができるよう改良を加えたことにより、厚紙でも毎分 100 ページの高速出力を実現^{注3}しました。これにより用紙対応範囲が広がり、さまざまな封筒^{注4}への出力も可能になるなど、幅広いアプリケーションに対応します。

また、デジタル画像処理技術を刷新。新開発の高速伝送技術により、大容量・高解像度のデータが伝送できるため、1200dpi の RIP ^{注5}処理と独自の「デジタルスムージング技術」^{注6}の組み合わせによって、文字・線画の品質が向上します。同時に、新たに開発した「GX Print Server」などにより、10bit 階調補正処理が可能になり、グラデーション表現やハイライト/シャドウ部の再現性が高まります。このデジタル画像処理技術に加え、粒状性が向上した独自の「FM スクリーン」^{注7}により、オフセット印刷にせまる高画質を実現します。

この「GX Print Server」は、RIP アクセラレーターボードにより、従来のソフトウェア処理をハードウェアで行います。これにより、大容量データやバリエーションデータ出力の生産性改善に貢献します。

さらに、表裏レジ合わせやカラーキャリブレーション^{注8}などの調整作業を自動化する「インラインセンサー」を標準装備。時間のかかっているオペレーターの調整作業負担を軽減し、稼働効率を大幅に向上します。

当社では、豊富な商品ラインナップや専門知識を持った営業スタッフ、さらに充実の保守サポート体制により、印刷市場のデジタル化を加速し、お客様のビジネス拡大に貢献します。

注 1：Color 1000 Press に対して、容積・重量を約 50%削減

注 2：Color 1000 Press

注 3：300g/m² (A4) 走行時 100 ページ/分、350g/m² (A4) 走行時 80 ページ/分

注 4：封筒の種類や形状により、走行できないものがあります

注 5：Raster Image Processor

注 6：「エッジエンハンスメント技術」・「文字・線の鮮鋭補正技術」

注 7：ゼログラフィック特性に応じた幾何学的最適網点配置により、従来の当社が提供していた FM スクリーンに比べ大幅に粒状性が向上

注 8：プリント物が正確な色となるよう、専用のカラーチャートをプリントし測定することにより色を補正する作業

【標準価格】

- 本体

商品名	標準価格(税別)
Versant™ 2100 Press (GX Print Server モデル)	19,800,000 円

※ 価格に消費税は含まれていません。別途消費税を申し受けます。

【販売目標】

日本およびアジア・パシフィック地域で年間 1000 台

Xerox、Xerox ロゴ、および Fuji Xerox ロゴは、米国ゼロックス社の登録商標または商標です。